

緑化委員会広報

つるは生け垣の大敵

風雅苑代表に手入れ方法を聞く

枯れ死する生け垣被害が広がっています。いったんウイルスに感染すると回復の見込みはほとんどないといわれています。当団地の植栽を長年、観察してきた

特効薬がない

— 枯れ死が広がる原因に

風雅苑の望月代表に汚染の現状と管理方法などを聞きました。



サザンカを補植して修復されたた生け垣

ついで。
望月代表 ウイルスによる黒色斑点病が原因です。春先に葉が赤く染まるカナメモチ、ベニカナメ、レッドロビンに被害が広がっています。現段階では殺菌剤の特効薬がありません。10年以上経過して抵抗力が弱くなった樹木がやられています。

— 今後も被害は拡大しますか。
望月代表 全部がダメというわけではありませんが、危険性は非常に高いです。ベニカナメやレッドロビンなどは人気が高く大流行しました。しかし現在は生産をやめています。植栽希望者には危険性を説明して植栽しています。

つるをはわせない

— 危険性のある樹木はまだどのくらいありますか。
望月代表 昨年度、2回にわたりサザンカへの植え替え作業を実施しましたが、生け垣の半分は、まだベニカナメなどが占めています。

— 植え替え作業で気付いたことは。
望月代表 枯れ死した樹木を掘り起こすと、根っ子が大きなこぶになっていて、地中に伸びる小さい根

がほとんどない。血管がなくなつて養分を吸収できなくなっています。
— 被害を防ぐ手入れの基本を教えてください。
望月代表 一つは生け垣に草木のイモづるをはわせないこと。二つ目は生け垣の下の草を刈り取り、風通しをよくすることです。せんだは年2回が理想ですが、サザンカやベニカナメは私どもが実施している年1回で十分です。

欠かせない活性化

— 特に気を付けることは。
望月代表 つるは特に注意して欲しいです。樹木は茎と皮の間の形成層という部分で養分を補給しています。つるが木に絡まると水分や養分の補給が困難になります。

平成16年度2回目の生け垣修復工事が3月に終わりました。
修復したのはウイルス感染で枯れ死したベニカナメ72本です。これで昨年春に実施した百八十本と合わせ二百五十二本がウイルスに強いサザンカに植え替えられました。

平成16年度2回目、72本を補植

枯れ死生け垣修復工事

新しいサザンカの花は、つぼみ段階では赤色ですが、咲くと白色に変化するという新種です。
今回の植え替え工事の後、枯れ死の恐れがあるベニカナメ、レッドロビンなどウイルスに強いサザンカの割合は、ほぼ半々になりました。



春。草花が競い合っています。タウンハウスの家々の庭先では手入れされたパンジー、ビオラがきれいな花を咲かせています。

緑化委員会の人たちが昨年暮れ、多摩市の畑から掘り取り植えた管理事務所前のプランターのパンジー、ビオラも見事に咲きそろいました。

作業後、焼肉で歓談

緑化委員会の楽しみは定例作業後のミーティングと懇親会で世間話に花を咲かせることです。
4月は屋外焼肉パーティー（会費制）でした。肉や野菜を焼きながら食べる食感はまだ格別で疲れを忘れさせてくれました。事務所前屋外で火を使う時は消防署へ届けています。



焼肉パーティー（4月17日）

一年を振り返って

植栽担当理事 宮村 安英

つくづく「一年は早いものだ」と感じた一年でした。

正直言って、理事会の役員をするまでは、自治活動にあまり興味がなかった。しかし、ホームタウンの方々の自治活動に対する熱心さがわかるにつれて、自分も何かをしなければならぬという気持ちに変わっていった。

特に私が担当した植栽は、緑化委員会の方々が運営している。この委員会は、輪番制ではなく、自主的にメンバー全員が参加をして

いる。近隣の自治会では、ホームタウン同様の緑化委員会を発足しようと試みているが、メンバーが集まらずに実現していないと聞いている。

その理由は、緑化委員会の活動をみれば納得できる。緑化委員会は、毎月第1日曜日の午前中に作業をしている。

その作業は、主に中低木のせん定・施肥・草刈等で、年間作業は緑化役員の方々がプロの造園業者しかできない作業と自分たちでもで

きる作業に分けて、少しでも自治会組合費の負担がからないようにスケジュールを考え実施している。

今年になって、2号棟前の道路沿いの中木（ナンキンハゼ）15本のせん定を緑化委員会で実施した。実際に造園業者に頼んだら、いくらぐらいになるのか、インターネットで調べてみたら、「中木せん定1万円（1本）」と書かれていた。なんとその作業だけで、15万円もの経費が削減されたことになる。

単純に年12回同様の作業をしたら、年間百八十万円も（正確ではないが）ホームタウン鶴牧に貢献したことになる。

最後に、前述したように緑化委員会は、毎月第1日曜日午前9時30分から役員会、10時から作業を行っている。

この委員会は、ひやかしの見学OK、一日体験OK、メンバーになっても義務的に参加しなくてもOK。



ユキヤナギのせん定作業（4月）

とになる。ホームタウン鶴牧は、施工されてから17年経っているの、あちこちで故障箇所やくたびれたものがでてきて不思議がない状況である。

自分の体同様に、自分たちの持ち物は、自分たちでメンテナンスし、大切にする必要があると近頃つくづく感じていた。

5月末で理事会の役員を退任するが、今後も機会があれば、自治活動に参加しようと思う。

また、作業2回に1回程度、作業後1時間ほど「お疲れ会」もしている。この「お疲れ会」だけの参加ももちろんOKである。

緑化委員会のメンバーは、多少口の悪いメンバーもいるが、面倒見がよく、気のよいメンバーなので、ぜひ興味のある方は、緑化委員会を気兼ねなくのぞきに来てほしいと思う。

平成16年度作業報告

6月6日(日) 第1回委員会(全体会議)。生け垣のチェック作業。

7月11日(日) 役員会。和田花園で花掘り、花壇、プランター植え替え。

7月18日(日) 理事会夏祭り支援、カレイライス作り担当。

8月、猛暑で休み

9月4日(土) 役員会。

9月5日(日) 作業。生け垣2メートルのロープ張り。組合員から伐採希望の樹木せん定。

10月9日(土) 会員の中秋氏壮行会。

10月10日(日) 2号棟前の生け垣せん定作業と2号棟周辺の樹木せん定。

10月19日(火) 花苗講習会(多摩市役所) 林委員長、富田の2人参加。

10月31日(日) 防災対策を兼ねた炊き出し用かまど製作作業(有志)。

11月7日(日) 役員会。理事会草取り日。委員は手分けして南斜面と東斜面の雑草刈り。草刈りの草の運搬集積作業。

11月13日(土) 花苗植え替えのためプランター、花壇の整備。



ナンキンハゼのせん定作業（2月）

11月21日(日) 多摩市の和田花園で花掘り。プランター、花壇の花植え替え。

12月5日(日) 第2回委員会(全体会議)、東側斜面などのブッシュ整備。

12月26日(日) 団地有志主催の年末恒例餅つき会。

1月9日(日) 役員会(生け垣修復で議論)。東側、バス通り斜面のブッシュ手入れ。

1月19日(日) 臨時役員会。生け垣の修復で風雅苑

社長を呼び意見を聞く。生け垣の枯れ死状況を点検。

2月6日(日) 役員会、南側道路脇のナンキンハゼと敷地内の樹木せん定。

2月20日(日) 臨時役員会。生け垣修復問題を検討。

3月5日(日) 役員会(予算案、生け垣修復問題等)、定例作業(アジサイの植え替え、施肥作業)。

4月17日(日) バス通り側のユキヤナギ整備。

編集後記

広報05年春季号をお届けします。

生け垣の保守・管理について専門業者に来てもらい、日常手入れの注意事項を聞きました。植栽担当の宮村安英理事には「1年間の苦労話」を寄稿していただきました。(編集担当)